



絵・成瀬政博

夢は牛のお医者さん

ナレーション・横山由依 (AKB48)

監督・時田美昭 製作著作・TeNYテレビ新潟 協力・日本テレビ「NNNドキュメント」 後援・新潟県 推薦・公益社団法人 日本獣医師会

配給宣伝協力・ウッキー・プロダクション 2014年 | 86分 | HDCAM | 16:9 | カラー | 日本 | ドキュメンタリー

<http://www.teny.co.jp/yumeushi>

昭和62年、新潟県の山あいにある小さな小学校に3頭の子牛が“入学”した。
まっすぐに夢を追った少女の26年間に密着したドキュメンタリー映画。

作品紹介

T e N Yテレビ新潟は、少女の夢の始まりから現在までの26年間を密着取材した感動の記録を映画化し、
3月29日（土）から新潟県内の3館と東京都1館で同時上映することになりました。

昭和62年、新潟県の山あいにある児童数わずか9人の小学校に“入学”した3頭の子牛。当時小学3年生だった高橋知美さんは、病気がちだった子牛の世話を続ける中でいつしか「牛のお医者さん」、獣医になる夢を膨らませていました。高校生活は親元を離れ勉強ひとすじ。一途に夢を追います。

この様子はこれまで日本テレビ「ズームイン!!朝!」「ズームイン!!SUPER」の中で、また新潟では55分の自社制作番組「夢は牛のお医者さん」、全国放送「NNNドキュメント」でも放送してきましたが、放送の度に「心から感動した」「勇気づけられた」とのご意見が多数寄せられました。

東日本大震災で新潟県にも多くの方々が避難してきました。「未来」そして「夢」が遠ざかっていく子供たちにドキュメント「夢は牛のお医者さん」を通して夢を持つことの大切さを伝えたい、という想いが映画化のきっかけとなっています。映画は“夢を持つことの大切さ”のほか、「家族」「故郷」「仕事」「現実の厳しさ」も描かれており、幅広い世代に感動をお届けできるものと思います。

Story・・・1987年—新潟県の山あいにある小さな小学校に3頭の子牛が入学した。当時、小学3年生だった少女が牛の世話をするなかで抱いた夢…それは「牛のお医者さん」。親しんだ牛との辛い別れを経て、家族や周囲の支え、ふるさとへの強い思いを胸に挑んだ13.5倍の難関…ペットではない「家畜」のお医者さんとなったかつての少女は、やがて母となり、かけがえのない「いのち」と向き合いながら今日も闘っている。新潟ローカル放送から日本テレビ系列「ズームイン!!朝!」「NNNドキュメント」の全国放送で大きな反響を得た番組の待望の映画化。



<作品概要>

作 品 名 夢は牛のお医者さん
監 督 時田美昭（T e N Yテレビ新潟）
製 作 著 作 T e N Yテレビ新潟
協 力 日本テレビ「NNNドキュメント」
配給宣伝協力 ウッキー・プロダクション

形 式 他 2014年／86分／HDCAM／16：9／カラー／ドキュメンタリー

ナレーション：横山由依（よこやま ゆい）／AKB48

1992年12月8日生まれ。身長158cm。京都府出身。血液型=B型。

AKB48メンバーの中でも、総監督・高橋みなみも絶賛する「がんばり屋」。

夢を持ち続けながら少女から大人の女性へと変わっていく主人公の姿を、同じく夢を持ち続ける自身の「等身大の声」で、映画を引っ張っていく。この映画に参加するにあたり、京都弁を克服しようと何日もかけて映像を見ながら台本を読み込み、映画ナレーションに初挑戦した。

【横山由依メッセージ】

「この映画に参加させてもらって、『やっぱり夢は思い続けられかなうんだ』という事に改めて気づけたし、この映画を見てくださった皆さんの心が希望に満ち溢れている事を祈って、皆さんで楽しんでいただければと思っています。」



制作者のことばⅠ

テレビ新潟 時田美昭

報道記者だった私と知美さんとの出会いは、昭和62年。

「クラスメート」として3頭の牛が「入学」した小学校の取材でした。素朴な木造校舎に懐かしさを覚え、それ以上に「素朴・ピュア」な9人の児童。たちまちファンになりました。

そして迎えた「牛の卒業式」…。これまで生きてきて、あんなに綺麗な涙を見たことはありません。なぜこんなに純粋な子供が育つのか？ 土地柄なのか？ 家族なのか？ もっと知りたくなりました。

しかし、当時間かされていたのは、数年後には廃校になるかも知れない事…。ならば、廃校まで密着していこう！ ローカルニュースの継続企画になりました。

当初は「素朴な学校・ピュアな児童」が取材対象で、特に知美さんにだけ焦点をあてることはありませんでした。知美さんの「夢」は知っていました。「牛のお医者さんになりたい」…でも、獣医になるにはいい大学を出ないといけない訳で、単純に「子供の夢だなあ」と記憶の片隅に忘れて、廃校後の4年間は会っていませんでした。

ある日、知美さんの家に電話してみると、「下宿して遠い高校に通っている」とのこと。親元を離れて猛勉強している。「高校3年間、テレビは見ない」と言う。過去に聞いた彼女の「夢」を、本気で受け止めずスルーしていたテレビマンとしての自分が恥ずかしかった。それからの私の夢は「彼女の夢に密着し、見届けること」。

知美さんからのお願いはただ一つ「大学に落ちたら放送しないでね…」。大学受験、そして獣医の国家試験合格を取材し、獣医になったばかりの春に「ズームイン!!SUPER」で放送した時には、16年の歳月が流れていました。「夢をかなえた姿は、自分にも頑張る勇気をくれた」、「もう一度見たい」、「学校で子どもたちに見せたい」など、驚くほどの反響がありました。しかし知美さんは、「夢がかなったのではない。ようやく夢のスタートラインに立っただけ」と言います。

夢には続きがありました。ならば私も、もうすこし「夢」に付き合わせていただきたい。

そんな矢先に起きたのが「東日本大震災」。新潟県にも多くの方が避難してきました。そんな家族・そして子どもたちにもう一度、いや、新しい「夢は牛のお医者さん」を見てもらいたい。新潟の地方テレビ局が作る番組を、被災地はもちろん全国に見てもらうには、テレビではなく「映画」という手法があります。社内では「無理だ、出来っこない」の意見が当然出ましたが、私は知美さんの生き方を見続けて、「はなから諦めるのではなく、挑戦する」が大事だということを彼女自身から教わってきました。

結婚して、子育てをしながらも家畜の獣医を続ける「今」の知美さんを通して、「夢の続き」だけでなく「家族・故郷・仕事の喜びと現実」を加えた26年間を描こう。

誰にも愛される「プロの獣医」になった知美さんの姿…。彼女の生き方が私の背中を押してくれたからこそ、この映画は完成しました。私の新たな「夢」が、ここに実りました。

【監督】時田美昭プロフィール

昭和35年 新潟県加茂市生まれ。横浜放送映画専門学校（現在の日本映画大学）卒業後、昭和56年に「テレビ新潟」入社。主に報道部、制作部に在籍し、「ズームイン!!朝！」などを担当。

プロデューサー 坂上明和

「夢は牛のお医者さん」映画化の話が出たのは一昨年のこと。「放射線を浴びたX年後」（製作：南海放送）の公開が始まった頃のことと思います。時田美昭ディレクター（監督）から映画化の提案がされ、ビジネスとして成立するのか様々な検討がなされましたが、シビアな判断をすれば「厳しい」という結論となり、その時点で頓挫していました。

この「夢は牛のお医者さん」は、27年前にローカルニュースの企画として放送されてから、「ズームイン!! 朝!」で歴代のキャスターが度々取り上げてきました。また、2003年にはNNNドキュメントでも全国放送され、放送の度に大きな反響が寄せられました。素材には大いなる可能性が秘められていました。しかし、映画はビジネス。赤字を出してまで製作に踏み切るというわけにはなかなかいきませんでした。そんな折、NDキュのプロデューサー会議で「X年後」映画化についての話を聞く機会があり、何とか収支を均衡させるところまでなら可能性があるのでは?と考えるようになりました。そして、日本テレビで当時ズームのCPを務めていた現在の弊社トップもこの番組を見ていたことから強力な後押しを頂き、漸く社内に映画製作実行委員会を立ち上げ、遂に映画化企画をスタートすることが出来たというワケです。

ローカルのテレビ局が映画化を行う場合、キー局と違い、大手の映画配給会社と契約できるような潤沢な予算があるわけもなく、ドキュメンタリー専門の配給会社に協力を依頼することになりました。また、ローカル局の場合、映画製作と同時に、興行を成功させるためのプロモーション活動も同時にやらなければなりません。地元の新潟県内ならば自社媒体を利用できますが、県外に関してはどのようにプロモーション活動をすれば良いのか、皆目見当もつかないまま、映画化の話は進むことになりました。映画の予算を決めるにあたり、協賛スポンサーを集める営業局、映画製作の報道制作局、パブリシティ担当の編成局、チケット販売の事業局など、各部署の役割分担を決めながら、全社挙げての応援体制が作られ、現在も動いています。映画ビジネスに関しては、作品の質の高さが興行成績に直結するために、通常のテレビ番組とはまた違ったハードルの高さというものを改めて感じさせられ、今は映画とテレビの違いを改めてひしひしと身に染みて感じている状況です。

現在、各地のローカル局でテレビ番組を映画化するという動きが徐々に出始めています。それは、放送外収入に対する期待であったり、新たなコンテンツ発表の場としての期待であったり、理由は様々です。しかし、過去の番組がまだまだ自由に視聴できない現在、自分が作った番組が「映画作品として残る」ということは、全国のテレビ制作者にとって大変魅力的なことであることに間違いはありません。

この映画の舞台である松代（まつだい）は、毎年、数メートルの雪に埋もれ、過疎、高齢化が進む地域です。しかし、そんな厳しい自然環境であっても、そこには今の日本が見失いかけている人と人との温かい関係が確かに存在し、のびのびとした子供たちを育ててくれています。厳しい自然の中で暮らす人々は、助け合わなければ生きてゆけません。だからこそこんなにも温かな人々がいるのだと思います。故郷に育まれた優しい子供たち、そして見守る大人たち…。そんな素敵な人間関係がこの映画の中には息づき、描かれています。映画「夢は牛のお医者さん」により、獣医の仕事や、私たちの食生活を支えてくれている畜産農家の方々のことに思いを馳せて頂ければ嬉しく思います。また、山あいの小さな小学校での体験学習での出来事について、教育現場の方々にも是非鑑賞して頂き、参考にして頂ければと思っています。

この映画には、昭和62年（1987年）から足掛け27年間にわたり取材を続けた時田ディレクター（監督）の熱い想いが込められています。なぜこれほどまでにこだわり続けてきたのか、その「答え」は映画の中にあります。是非、鑑賞して頂き、その「答え」を見つけて欲しいと思います。

最後に、この映画公開にあたり、出演を快く引き受けて頂いた丸山知美さん、ご家族の方々、取材に協力して頂いた松代をはじめ各地の皆様、製作に多大な協力をして頂いた日本テレビ「NNNドキュメント」関係者の皆様、制作スタッフの皆様に心より感謝申し上げます。

登場人物紹介

高橋知美さん

昭和 53 年 新潟県松代町筋平地区生まれ 三姉妹の長女。

小学校に入学した 3 頭の牛の中で、強子（つよし）を担当。知美さんいわく 3 頭の中では「足が長くて色男（ハンサム）」。

牛のシッポをつかむと蹴られる危険があるが、知美さんはよくシッポをつかんで散歩。牛との信頼感も人一倍強かった。

小学校は、違う学年の子と一緒に授業を受ける「複式学級」。獣医学部を目指すため、親元を離れての下宿生活で、遠い高校へ通った。高校入学直後の成績順位が最下位近くだったことにショックを受け、「3 年間テレビを見ない」と誓って猛勉強。

高校卒業間際には学年トップ 15 に入るほど成績を上げた。

大学卒業後は新潟県上越市にある家畜診療所に勤務。

平成 20 年に結婚して丸山姓になる。 2 人の男の子を子育てしながらも獣医を続けている。



知美さん年譜

昭和 53 (1978) 5 月	高橋知美 誕生
62 (1987)	牛 入学～牛の卒業式 (知美 小 3)
平成元 (1989)	豚 (知美の自宅に子牛 モーちゃん)
3 (1991)	知美 小学校卒業
4 (1992)	筋平小学校 閉校 (知美 中 2)
9 (1997) 2 月	大学受験 (知美 高 3)
4 月	岩手大学農学部獣医学科 入学
11 (1999)	成人式
13 (2001)	里帰りで獣医インターン タイムカプセル開く
15 (2003)	大学卒業 国家獣医師試験に合格
	上越市の家畜診療所に就職
5/14	「ズームイン!!SUPER」で放送
11/3	全国放送 「NNN ドキュメント' 03『夢は牛のお医者さん』」
16 (2004) 11 月	中越地震 ボランティアで山古志に牛の救出へ。
20 (2008) 11 月	結婚 (30 歳) 丸山姓に
21 (2009) 11 月	長男出産
23 (2011) 12 月	二男出産

<テレビ新潟からのお願い>

主人公の丸山（旧姓高橋）知美さんは、現在も子育てを続けながら、日々、牛の診療を続けている、いわば「一般人」です。

本人への直接の取材や訪問は、診療や家庭生活の妨げとなる恐れがあり、また実家や牛舎への取材や訪問も、伝染病など衛生管理のうえでも、避けて頂ければ幸いです。

映画についての取材やご感想は、まずテレビ新潟事業局企画開発部で承ります。

キーワード解説

地域&学校

故郷は新潟県東頸城郡松代町（2005 年 4 月に合併後は十日町市）。

蒔平（あざみひら）地区は国内有数の豪雪地。昭和 16 年に地区に電気が通る。山の斜面に棚田や家が点在する日本の原風景的なムラだが、一方で過疎化が急激に進んだ地区。冬は出稼ぎに出た家が多かったが、20 年ほど前、バブル崩壊と共に求人が減り、出稼ぎも途絶える。昭和 14 年には 75 世帯あった家も、2014 年には 20 世帯に減った。蒔平小学校は、昭和 34 年には 93 人の児童で賑わったが、牛が入学した昭和 62 年には 9 人。知美さんが卒業後は、女の子 4 人だけになり平成 4 年に廃校となる。

知美さん一家

高橋家は祖母と両親、3 姉妹の 6 人。元々コメ農家で数頭の牛も飼育していたが、冬の出稼ぎに出なくても暮らせるよう、牛を 10 数頭に増やした。獣医になった知美さんの評判を同業者から聞くにつれ、父・勝美さんも奮起。きめ細かな肥育で 2011 年には、新潟県から出荷した肉牛の中で最高値、全国ランクでも 6 位に入る、*₆ 6850 円にもなる高級和牛を育て上げた。（父も「やれば出来る」と娘に自慢。）



獣医さん

現在、獣医師届出者の総数は 3 万 8293 人（農林水産省：平成 24 年届出数より）。獣医学教育の履修過程は大学で 6 年間。カリキュラムは医学部に匹敵するといわれている。日本で獣医師になるためには、獣医学系大学を卒業して農林水産省が実施する獣医師国家試験に合格し、獣医師免許を取得しなければならない。毎年、獣医師国家試験に合格する獣医学生数は約 1,000 名。獣医学部の試験は 10～20 倍の難関といわれている。牛や豚、鶏などを対象として診療行為を行う産業動物臨床獣医師は、農村地域等で自ら診療施設を開設するか農業共済組合または農業協同組合等に勤務して周辺の畜産農家に往診し、ワクチン接種等を行い、消毒など伝染病予防の衛生指導といった予防衛生業務については、家畜保健衛生所の家畜防疫員などの公務員獣医師が行っていることが多い。しかし、近年では産業動物獣医師を志望する獣医学生がそもそも少ないことなどにより、地方における従事者の確保が進まない状況にある。

■テレビ新潟

1981 年 4 月開局。新潟県内で 3 番目に開局した民放テレビ局である。日本テレビ系列局では唯一、社名に日本テレビと同じ「放送網」の字が入る。開局当初の略称は、英語の登記名「Television Niigata Network」の頭文字からとった TNN（ティエヌエヌ）。1998 年 1 月 1 日に CI を導入し、マーク・社名ロゴなどを一新、略称も社名の「テレビ」と「新潟」の頭文字をアレンジした TeNY に変更した。1995 年 10 月から月～金ベルトで放送する自社制作番組「夕方ワイド新潟一番」をスタート。県民から圧倒的な指示を受け、現在、4 年連続で視聴率三冠王となっている。

株式会社テレビ新潟放送網 950-8555 新潟市中央区新光町 1-11

TEL 025-283-8140 FAX 025-283-8138 (T e N Y テレビ新潟 事業局企画開発部)

◆「新潟発の映画であることから、新潟在住の音楽家を」という監督のこだわりから起用

オリジナルサウンドトラック

作曲：笛人 本宮 宏美 & ash

笛人 本宮 宏美。新潟県燕市生まれ。

フルートによるオリジナル楽曲のCDを3枚リリース中。クラシックのジャンルから飛び出したフルートの音色は、あたかも歌声のように奏でられ、その既成概念を超えた技法は、まったく新しい音楽ジャンルを創出している。この上なく切なくも癒される、そして力強く希望の持てるフルートの音色で映画「夢は牛のお医者さん」の世界観を彩る。

サウンドトラック製作

「オトノハコ」

新潟県を中心に活動する音楽集団・音楽プロダクション。

郷愁と温かさが込められた本宮宏美のフルートの音色と笠原厚浩のアコースティックな伴奏が、映画本編で主人公の心情を奏でる。

エンディングテーマ「卒業写真」

作詞・作曲：荒井由実 編曲：寺尾敬博 歌：U r u

「卒業写真」は、この映画のメッセージを伝える曲。

♪「あの頃の生き方を あなたは忘れないで」と訴える歌詞は、映画の主人公の半生だけでなく、観客の誰もが自分を振り返り、また、自分の「これから」を考えさせてくれる名曲。

歌

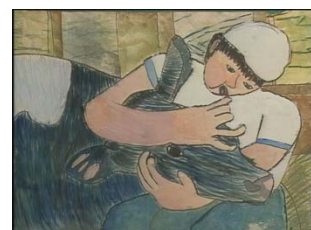
U r u (ウル)

新潟県三条市在住。

会社務めのかたわら、県内でバンド活動続けるアマチュアのシンガー。

透明感ある歌声で、映画「夢は牛のお医者さん」を締めくくる。

本宮宏美のフルートをはじめ、「オトノハコ」の演奏で荒井由実の名曲をカバー。



「ズームイン!!SUPER」に寄せられたご意見メール

◆ご職業 = 無職

幼いころの夢をかなえるために、必死でがんばって、見事にかなえた高橋さんに、ひどく自分を反省させられ、勇気づけられました。僕はいつもやろうと思ったこともなかなか続けられる、いつしか夢という夢も持たなくなりました。でも、これを見て本当にえらいなあと思いました。がんばったからこそあれだけすばらしい嬉し涙が流せるんだなと思います。僕は車いす生活を送っていますが、放送作家の夢をかなえるため、今日からがむしやらにがんばりたいと思います。僕に勇気をくれた高橋さんにありがとうございます。いつか、僕が高橋さんを取り上げる番組を作って、恩返しをしたいです。ぜひ本人によろしく言うておいてください。



◆ご職業 = 会社員

大変な感動をいただきました。

出演の女の子が幼い頃、牛との別れでながした涙の場面は以前何かの番組でも見たことがあり、ずっと記憶の中に残っていました。ひたむきに夢というよりはむしろ志に向かって頑張る姿には本当に感動。

初志を貫徹できる人間の素晴らしさ、強さ。こんなことを実感させてくれました。自分自身久しく忘れていた大切なものをもらったような気がします。

◆職業：会社員

感激して、朝から泣いてしまいました。我が家にも二人の娘がいますが、登校して見せることができませんでした。小さい頃からの夢をかなえる為にどれだけの努力をしたのか、また夢はがんばればかなえられるものだという事を、等身大の彼女から学んで欲しいと思います。この放映は子供が見れる時間帯で是非再放送をお願いします。我が家のバイブルにもなりそうなくらい価値のある番組でした。

◆職業：会社員

出勤前なので、朝はあまりゆっくり TV を見ていられないのですが、5/14 の朝食時に「ズームアイ」を偶然観かけて、思わず遅刻しそうになるくらい見入ってしまいました。幼い頃からの夢を抱き続け、目標に向かって、ひたむきに努力する姿が、短時間の中でも十分伝わってきましたし、両親へ経済的負担をかけたくないという気持ち（滑り止めや浪人を自分自身が許さず、あくまで自分の力」を信じて勝負する姿）が、とても感動的でした。

◆職業：会社員

感動しました。子供の頃の体験に基づいて自分で決めた志を幾多の困難にも負けずに実現した生き方には、心から感動したし、これからの子供達も是非見習って欲しいお手本だと思います。



◆職業：団体職員

どうか 16 年間の記録の再放送をしてください。
生徒への何よりの教材であり、生きる力のもとになります。

◆職業：会社員

感動いたしました。夢の実現に向けて長い年月、日々努力される姿、強い目標意識は大人である私にも勇気を与えてもらいました。現在、障害を持って生まれた子供たちの夢を実現させるボランティアをしています。

ドキュメント03 「夢は牛のお医者さん」 視聴者ご意見メール

◆職業: その他

小学校3年生時にこの牛に出会っていなければ、高橋知美さんは獣医になろうなんて思わず、こんなにも頑張れなかったと思います。4月頃にこのドキュメントを見たとき、私は浪人生になりたてでした。そして、受験に失敗して落ち込んでいた私を励ましてくれたのは、この番組でした。番組が終わる頃には涙が止まらなくなっていました。そして、「なんて素晴らしい話なんだろう」と感激する思いと同時に、「来年こそは絶対に志望校に合格しよう」という気持ちになれました。もちろん、今回放送されたものを見ても涙涙…。その後、何回も見直したんですが、その度に涙…。言葉では表すことのできない思いが胸一杯に溢れました。そして、全国の皆さんに、感動とやる気を与えて下さい！！

◆職業: その他

私は、群馬県桐生市立境野小学校で教師をしています。是非クラスの子どもたちと、この作品をとおして勉強したいと思いました。そこで、再放送の予定や作品を購入できないかを知りたいのです。お忙しいとは思いますが、大変素晴らしい教材です。

◆職業: 会社員

すごく感動しました。彼女のような心の綺麗な人間をみると世の中も、まだまだ捨てたもんじゃないと勇気づけられます。彼女みたいな素敵なお人には、もっともっとイッパイ幸せになってもらいたいです。俺も、彼女のような心の綺麗な人間になれるように今後の人生を歩んでいきたいと思います。このような意味のある番組をマスメディアの皆様には、もっと広い枠で採り上げてほしいです。世の中の治安を左右するのは、マスメディアの影響が間違いなく大です。確かにビジネス優先の為、視聴率がとれるふざけた番組が幅を利かすのは解りますが、内容のある番組は必ず人々に希望や勇気を与えてくれます。また、ひねくれた人間も少しは改心出来ると思います。

◆職業: 会社員

とても感激しました。ボクも岐阜の山奥の小さな村で自然に囲まれ育ったのですが、自然が大好きで大きくなったら田舎で暮らすことが夢だったはずなのですが・・・現在は大阪に住んでおります。あの頃自分が感じていた事を今改めて振り返ると同時にこれからの自分の生き方についてももう1度考えてみようと思えました。高橋さんから頂いた感動と生きる姿に感謝致します。ありがとう。



スタッフ一覧

ナレーション：横山由依（AKB48）

出演：丸山知美（旧姓 高橋）

取材協力：十日町市 旧 松代町 苅平地区のみなさん

上越市・妙高市・糸魚川市・津南町 酪農・畜産農家のみなさん

新潟県立高田高等学校 岩手大学

NOSA I 上越 農業共済組合 上越家畜診療所 タカノファーム

映像協力：「新潟県中越地震」NNN 取材団 プロメディア新潟 バーツ・プロダクション 平林金一 樋口彰

撮影：計良 昇 若月 透 本間伸行 清住隆芳 青島一吉 須藤裕伸 春川和之 小野里幸基 三富健児
時田美昭 池田優史 小林博之 高橋和也 金子淳一 真木一仁 広瀬友喜 後藤大治郎 金子哲也

音声：立川愛子 土谷久美子／取材：中川 治 近藤康子 大竹康子

編集：金子哲也／ミキサー：浜口 崇／音効：渡辺真衣

Special Thanks：「ズームイン!!朝!」「ズームイン!!SUPER」「NNNドキュメント」

谷原和憲 日笠昭彦

宣伝デザイン：成瀬慧／宣伝イラスト：成瀬政博／字幕協力：TeNYサービス 駒形正明 中林良隆 森祥子

配給宣伝協力：ウッキー・プロダクション／宣伝PR：紫竹聡子 水野明子／Web製作：小幡章 鶴巻博幸

映画「夢は牛のお医者さん」オリジナルサウンドトラック

作曲：本宮 宏美 & ash／音楽：オトノハコ株式会社

プロデュース：笠原 厚浩／サウンドプロデュース：寺尾 敬博／レコーディングアシスタント：水戸部 優彦

／レコーディングスタジオ：オトノハコ スタジオアッシュ／ミキシングスタジオ：STUDIO GIO WORKS／

フルート、ピアノ：笛人 本宮 宏美／ギター：ash／ベースドラムス&シンセプログラミング：寺尾 敬博

*エンディングテーマ「卒業写真」作詞・作曲：荒井 由実／編曲：寺尾 敬博／歌：Uru

音楽協力：アルファミュージック ソニーミュージックパブリッシング

「夢は牛のお医者さん」映画製作実行委員会

室川治久 水島敏夫 熊倉啓一 神林裕 須佐博樹 竹石尚史 稲田裕之 本間芳之

坂上明和 都築昭 増子隆 紫竹聡子 時田美昭 鈴木英門 土田雅之 吉田和祉

アシスタントプロデューサー：吉田和祉

プロデューサー：坂上明和

監督：時田美昭

製作著作・TeNY テレビ新潟

お問い合わせ 配給宣伝（全般）担当：ウッキー・プロダクション（猿田）

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-3-3 シルキーハイツ九段南 2 号館 606 号室

TEL:03-5213-4933 FAX:03-5213-4934 携帯：090-2219-7894 Mail: yus@solid.ocn.ne.jp
